



## 野外炊事大成功

前日までの雨が嘘のような好天に恵まれた9月1日、二年目になる野外炊事が、森林公園にて行われました。■この行事は、学年を越えた生徒間の交流をより深め、協力して物事を成し遂げる達成感を味わったり、手間のかかるメニューづくり、当日の買い物、普段と違った環境で自分たちだけで料理をするという制約された条件の下で、生活力や社会性を育むことを目的としています。■生徒たちの準備は2週間前に始まり、学年を越えた縦割りの班編制からメニュー決め、レシビ作り、予算決めの役割分担など3年生を中心に全員で協力してきました。■当日は、まず事前に立てた予算に沿って買い物を

# 浦幌高校日記

地元浦高の様子をお届けします



する買い出し組と、森林公園で調理道具や炭火の準備をする火おこし組に分かれ、作業がスタートしました。■買い出し組は、限られた予算のなかで人数分の食材をそろえることに頭を悩ませ、火おこし組は慣れない炭からの火おこしに戸惑い、それぞれ



がそれぞれに苦勞しながらも、みんなで見守りながら協力している様子が見られました。■生徒が考えたメニューは、各班2品から4品で水餃子、パエリア、口コモコ丼、ピザ、ロールキャベツ、ミネストローネ、クレープなどほぼ30種類、カタカナの多い、手間のかかるメニューが目白押しでした。しかし、調理が始まると、ご飯を炊く水の量や、野菜の切り方、味付けなどみんなで相談しながら順調に調理を進め、どの班もとても美味しそうにできあがっていました。■できあがった料理は竹内校長や山岸PTA会長さんが試食し、点数をつけるという方法で審査され、表彰式では自分の班が賞に入ると、うれしそうに賞状を受け取っていました。■また、今年もお忙しい中、保護者の方にご協力していただき、麦茶を提供していただきました。生徒の目の前で鮭をまるごとさばくという、ダイナミックなパフォーマンスに生徒たちは

「うあー！」と、驚きの声をあげ、大きな拍手も起こっていました。もちろんちゃん焼きもおにぎりも大好評で、生徒も教員も大満足でした。■生徒たちからは、「疲れたー」という声も聞かれましたが、計画から後片付けまでみんなで協力してひとつのものを作り上げるということへの達成感が感じられました。■全校生徒がひとつになり交流できる行事として今後も続けていきたいと思えます。■最後に、野外炊事を行うにあたって、ご協力いただいた保護者の皆様、役場や教育委員会、各商店の皆様本当にありがとうございました。

## パレード盛大に開催

8月24日、浦幌町市街地区三校PTA連絡協議会主催による、第29回交通安全・青少年健全育成パレード

## 秋の火災予防運動

「消さないで あなたの心の 注意の火。」をスローガンに、秋の全道火災予防運動が、10月15日から10月31日まで展開されます。

この運動は、暖房機器の使用等により火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の高揚を図り、もって火災の発生を防止し、死傷事故や財産の損失を防ぐことを目的として実施されます。

**☆強調期間** 平成18年10月15日(日)から21日(土)までの期間中、午後9時に20秒間サイレンが吹鳴されます。

**☆一般住宅立入検査** 期間中、消防団員による立入検査を行います。

**☆住民指導** 地域子供会及び職場、行政区等各種団体で、防火映画の映写、避難訓練、消火器取扱い指導等の希望がありましたら浦幌消防署までご連絡ください。(☎576-2419)

### 住宅防火ののちを守る 7つのポイント

#### 3つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

#### 4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具や衣類からの火災を防ぐために、**防災製品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器等**を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

が行われました。■浦幌高校からは竹内校長をはじめ、生徒会執行部の生徒8名が参加し、浦幌小・中学生や関係団体の役員の方々と約200名と共に、青少年の健やかな成長を願い、小学校から町スポーツセンターまでを進行しました。■生徒会長の吉田克之君は、児童生徒の代表として「最近ニュースでは中高生による犯罪が多く報じられています。毎日、何かしら悲しいニュースと嬉しいニュースが報じられます。なぜ僕たちと同じ年の人の人生が、こんなにも違ったものになるのでしょうか。自分一人ではどうしようもないとき、必ず助けてくれたり、アドバイスがくれたりする周囲の人の存在は、とても大切なものだと感じています。多くの人に支えられながら、また、支えながら、お互いに協力し合いながら、みんなが気持ちよく生活していくことができれば、とても良い社



会を作っていけると思います。」と挨拶しました。■また、交通安全に関して、「日本では、毎日必ず事故が起きています。実は、いつこの道路上で事故が起きてもおかしくない、ということを考えながら今日は歩いてみましょう。」と呼びかけました。■パレードでは、鼓笛隊と吹奏楽の演奏にあわせて行進しながら、沿道の人にチアリーダーや風船を配り、参加者全員で交通安全と青少年の健全育成を呼びかけました。少しでも多くの方々に私たちの思いが届き、事故が無くなることを心から願っております。

### 高文連茶会研修会に参加

茶道部は、部員4名という少ない人数ではありますが、外部講師の澤口先生の指導のもと、熱心に活動を行っています。■9月2日(土)、帯広大谷高校にて、十勝管内高等学校の茶道部が一堂に会し、日頃のお稽

古の成果を披露する茶会研修会が行われました。■顧問の伊藤千香子先生は今回の茶会研修会のことを以下のように述べています。◇今回の研修会は『棚付き飾り(更好棚)』というお点前(茶をたてるときの作法)をさせていただきました。◇このお点前は、普段のものに、棚に飾ったお道具を鑑賞するという作法が加わり、少し難しいものですが、この研修会のために、一つひとつの作法を丁寧に行うこと、お客様をおもてなしする心というものを見直し、お稽古をしてみました。◇いよいよ当日を迎え、いざお茶席に望むと、そこには更別高校、清水高校、鹿追高校の生徒さんと顧問の先生合わせて30名が座っていました。◇普段、4名でお稽古をしている部員にとつては、見たこともない人数のお客様の上、皆さん茶道を熱心にされている方の集まりということもあり、大変なプレッシャーを感じました。「足が震える」「緊張して声が出ない」「お

点前の途中で間違いに気が付いた」等、それぞれの部員が感じたこと、反省したことは様々です。◇日頃のお稽古の成果を十分に発揮できたこと、自信を持つては言えませんが、とても良い経験になったと思います。また、他の学校のお点前を見せていただき、学ぶこともたくさんありました。礼の仕方、歩き方、お道具の扱い方、良いところを実際に見て、真似をしてみることも大切だとわかり、本当に実りの多い研修会になりました。◇この茶会研修会で、3年生は引退となりますが、茶道で学んだ礼儀作法やおもてなしの心を、社会に巣立つてからも役に立てて欲しいと思います。残された1・2年生の部員は、人数が少ない中でも、浦幌高校茶道部の伝統を引き継いでいってくれるものと信じています。■学校祭に引き続き、町の文化祭等、また皆様の前で、お点前を披露する際には、よろしくお願いたします。(森教頭)